

赤ちゃんが生まれたら

出生届

生まれた日から数えて14日以内に届出をします。出生証明書・母子健康手帳が必要です。(印鑑は任意。)マイナンバーにつきましては、後日個人番号通知書が郵送されます。

【届出先】市民課・各支所・川口駅前行政センター・東川口駅前行政センター

児童手当・子ども医療費

お子さんが生まれた日の翌日から数えて15日以内に申請が必要です。申請が遅れると支給できない期間が発生する場合がありますので、お早めにご申請ください。

問合せ 子育て支援課 手当係 ☎048-258-1113

赤ちゃんにっこり応援事業

市内にお住まいの1歳未満の乳児のいる保護者のかたへ「赤ちゃんにっこり応援金」を支給します。(詳しくは、市ホームページをご確認ください。)

問合せ 子育て支援課 手当係 ☎048-271-9672

産婦・新生児訪問

保健師または助産師がご自宅に訪問します。

赤ちゃんの計測やお子さんとお母さんの健康、育児相談などを行っています。

【対象】産婦、乳児

※ご出産後、出生連絡票(母子健康手帳 別冊の一番後ろに添付されているはがき)をお早めに地域保健センターに提出してください。

問合せ 地域保健センター ☎048-256-1120

産後ケア事業

宿泊型、日帰り型、訪問型による産婦・赤ちゃんのケア、授乳・沐浴の相談や指導、育児相談などを行っています。

☆出産後に、事前の利用申請が必要です。一部自己負担分の利用料が発生します。

【対象】市内在住の産婦と1歳未満の乳児(ケアの種類により対象時期が異なります。)

問合せ 地域保健センター ☎048-256-1120

埼玉県思いやり駐車場制度

妊娠7か月から産後1年までのかた(出産後は乳児と同伴の場合に限る。)を対象に、思いやり駐車場区画として協定を締結した施設等において利用証を掲示することにより、優先駐車区画を利用できる制度です。詳細につきましては、埼玉県ホームページをご確認ください。



問合せ 福祉総務課 ☎048-259-7929

乳幼児健康診査

健康診査名	対象者	健診内容	実施場所
3・4か月児健康診査	生後3か月～5か月になる前日までの乳児	問診・身体計測・診察	委託医療機関
10か月児健康診査	生後10か月～1歳になる前日までの乳児	問診・身体計測・診察	委託医療機関
1歳6か月児健康診査	1歳6か月～2歳になる前日までの幼児	問診・身体計測・診察	委託医療機関
1歳6か月児歯科健康診査	1歳6か月～2歳になる前日までの幼児	問診・歯科診察 その他必要な指導	
フッ化物塗布	1歳6か月～3歳になる前日までの幼児	フッ化物塗布(3回)	
3歳児健康診査	3歳6か月～4歳のお誕生日の月までの幼児	問診・身体計測・尿検査 診察(内科・歯科) 相談(育児・栄養・心理)	地域保健センター・ 鳩ヶ谷庁舎

健康診査の時期については、対象になる月の前月までに個人通知します。

対象時期に通知が届かない場合は、健康増進課にご連絡ください。

問合せ 健康増進課 健診係 ☎048-256-1135

相談・教室

幼児相談

☆予約が必要です。事前に地域保健センターにお電話でお申込みください。

おおむね1歳から就学前のお子さんの育児、発育・発達、ことばなどの相談を保健師・心理相談員などがお受けします。

問合せ 地域保健センター ☎048-256-1120

ぴよぴよグループ

☆予約が必要です。

出生時体重が1,500g以下のお子さんとそのご両親を対象にした交流会を行っています。

問合せ 健康増進課 給付係 ☎048-256-1135

食育教室

☆予約が必要です。

5・6歳のお子さんとその保護者のかたに対し、実施しています。

問合せ 地域保健センター ☎048-256-1120

離乳食講習会

☆予約が必要です。

生後3～5か月の乳児とその保護者のかたに対し、実施しています。

問合せ 地域保健センター ☎048-256-1120

幼児食講習会

☆予約が必要です。

1～1歳6か月の幼児とその保護者のかたに対し、実施しています。

問合せ 地域保健センター ☎048-256-1120

※「離乳食講習会」・
「幼児食講習会」について、
市ホームページで動画を
配信しています。



予防接種

予防接種とは、病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くしたりするために、ワクチンを接種することをいいます。接種した本人が病気にかからないようにすること、また、感染により社会に病気がまん延してしまうのを防ぐことを主な目的としています。また、病気にかかったとしても、予防接種を受けていれば重症化を防げる場合があります。各ワクチンの接種時期や接種間隔などを考慮して、早めにスケジュールを立てましょう。

問合せ

健康増進課

予防係

☎048-256-1135

●ワクチンの種類と予防接種の間隔

生ワクチン

ウイルスや細菌の病原性を弱めてつくったワクチンです。その病気にかかったときとほぼ同じ仕組みで免疫がつきます。そのため、まれにその病気と同じ症状が現れることがあります。

注射生ワクチン接種後、次の注射生ワクチン

予防接種まで27日以上あける

※注射生ワクチン接種後、次に接種する予防接種が注射生ワクチン以外のワクチンの場合、接種間隔に制限はありません。

不活化ワクチン

ウイルスや細菌を殺し、免疫をつくるのに必要な成分を取り出して病原性を無くしてつくったワクチンです。生ワクチンに比べて免疫がつきにくいので、数回の追加接種が必要です。

次の予防接種までの
接種間隔に制限はありません。

- ・日本脳炎や五種混合など、同じ種類のワクチンを複数回接種するものは、それぞれの接種間隔を守るようにしてください。
- ・新型コロナウイルスワクチン接種の前後は2週間以上の間隔をあけてください。

●乳幼児期に受けたい予防接種一覧

不 … 不活化ワクチン 生 … 生ワクチン

予防接種名	予防する病気	接種回数 [標準的な接種間隔]	対象年齢 [標準的な接種時期]
不 B型肝炎	B型肝炎	3回 [初回接種後27日以上あけて2回目、初回から139日以上あけて3回目]	1歳未満 [生後2か月以上9か月未満]
不 小児用肺炎球菌 ^{※1}	肺炎球菌による肺炎や中耳炎、髄膜炎など	初回 3回 [それぞれ27日以上あける] 追加 1回 [初回の3回目終了後60日以上あけて1回]	生後2か月以上5歳未満 [生後2か月以上7か月未満に接種開始] 1歳以降5歳未満 [1歳以上1歳3か月未満]
生 BCG	結核	1回	1歳未満 [生後5か月以上8か月未満]
不 五種混合	・百日ぜき ・ジフテリア ・破傷風 ・ポリオ ・ヘモフィルスインフルエンザ菌b型(ヒブ)による髄膜炎など	1期初回 3回 [それぞれ20日から56日あける] 1期追加 1回 [1期初回の3回目終了後6か月から18か月あけて1回]	生後2か月以上7歳6か月未満 [生後2か月以上7か月未満に接種開始]
生 MR ^{※2} (麻しん風しん混合)	・麻しん(はしか) ・風しん	1期 1回 2期 1回	1歳以上2歳未満 5歳以上7歳未満で小学校入学前の1年間
生 水痘	水痘	2回 [初回接種後6か月から12か月あけて2回目]	1歳以上3歳未満 [1回目は1歳以上1歳3か月未満]
不 日本脳炎 ^{※3}	日本脳炎	1期初回 2回 [6日～28日あける] 1期追加 1回 [1期初回の2回目終了後、おおむね1年あける] 2期 1回	生後6か月以上7歳6か月未満 [1期初回は3歳以上4歳未満 1期追加は4歳以上5歳未満] 9歳以上13歳未満 [9歳以上10歳未満]
生 ロタ ^{※4}	ロタウイルス胃腸炎	ロタリックス(1価) 2回 [初回接種後27日以上あけて2回目] ロタテック(5価) 3回 [それぞれ27日以上あける]	生後6週以上24週未満 [1回目は生後14週6日までの接種を推奨] 生後6週以上32週未満 [1回目は生後14週6日までの接種を推奨]

※1) 生後2か月から7か月未満に初回接種した場合です。この期間に接種を開始しない場合は回数などが異なります。※2) 麻しん・風しん単抗原ワクチンの接種もできます。※3) 平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの方は予防接種を受ける機会を逃していることがあります。接種に関する詳細については各市区町村にお問い合わせください。※4) 日本における予防接種では、ロタリックス(1価)とロタテック(5価)という2種類のワクチンが用いられています。どちらか一方のワクチンで接種を完了します。種類によって接種回数などが異なります。

●予防接種のポイント

ワクチンは、種類ごとに接種できる時期や推奨期間が決められています。また、注射生ワクチン接種後、次の注射生ワクチン予防接種まで27日以上間隔をあける必要があります。そのため、事前にしっかり調べてスケジュールを組み立てましょう。

また、子どもの体調や周囲の感染症発生状況も考慮しましょう。詳しくは、お近くの医療機関や保健所などにご相談ください。

POINT1 当日はここをチェック

- 子どもの体調はよいか、熱があったり、ふだんと変わったところはないかなどを確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておくとな伝えやすくなります。
- 母子健康手帳は必ず持って行きましょう。



POINT2 ワクチンを接種するときは

- スムーズに接種できるように、小さな子どもはしっかりと抱っこしてあげてください。親がリラックスすると、子どもも安心します。
- 注射で泣く子どもは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、頑張ったことをほめてあげるなど、親の態度や工夫がカギです。



POINT3 接種後の注意

- 接種後30分くらいは、体調に変化があってもすぐ対応してもらえるように、医療機関の中で子どもの様子を見て過ごすか、すぐに医師と連絡がとれるようにしておいてください。この間に急な体の変化が起こることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすようなことはせず、接種箇所を清潔に保ってあげましょう。
- お風呂には入れてもかまいませんが、接種箇所をこすらないでください。



予防接種を受けたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にしておきましょう。予防接種を受けるにあたっての注意点など、より詳しく知りたいかたは右記の二次元コードからご覧になれます。



赤ちゃんが生まれたら

予防接種スケジュール

公益財団法人 予防接種リサーチセンターHP→



※小学6年生～高校1年生相当の女子 HPV